

2011年4月22日

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科がプロ野球球団・スポーツ競技団体と
マーケティングの産学連携プロジェクト研究を 2011 年度に実施

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科
(青山ビジネススクール)

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科(キャンパス：東京都渋谷区、研究科長：高橋文郎教授、通称：青山ビジネススクール、以下「ABS」)は、プロジェクト演習科目「マーケティング・プランニング・プロジェクト」において、プロ野球球団(東京ヤクルトスワローズ、埼玉西武ライオンズ)やスポーツ競技団体(日本トリアスロン連合)と産学連携して、スポーツマーケティングに関して調査・研究・戦略提案を行う授業を2011年4月から開始しました。(企業・団体名は順不同)

ABSは、MBA課程のカリキュラムの中で経営理論を実践に生かすための「体験的学習プロジェクト」という演習科目を設け、MBA課程の学びの集大成の科目として位置づけています。その1つである「マーケティング・プランニング・プロジェクト」は、新しいライフスタイルをテーマにマーケティング研究する科目で、2011年度は研究テーマを「スポーツマーケティング」として、プロ野球球団やスポーツ競技団体と連携し、各社・団体のマーケティング活動の現状を学生が調査・分析し、今後のマーケティング戦略や具体的なプランなどを立案し、幹部層に報告・提案する予定です。

年度テーマをスポーツマーケティングと選定した理由は、スポーツ領域は現在の成長マーケットであり活発なマーケティングが展開されていること、一般的な経営科目のあまり扱わないケースを研究対象にすることで新しいマーケティング・マネジメントの知見・経験を獲得できる可能性があることがあげられます。

またスポーツマーケティングを展開する対象が地域社会であり、その活性化に貢献できるという「ソーシャル」な面があり、その展開手法は「グローバル」にも適用できるものであることから、時代の要請に応える経営人材を育成するMBA教育に相応しい研究テーマであると考えています。

カリキュラムの詳細とABS概要は次頁以降の通りです。

お問い合わせ先

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科

教授 宮副 (みやぞえ) ・ 准教授 澤田 (さわだ)

電話：03-3409-8111(代表) メール：kmiyazoe@gsim.aoyama.ac.jp

1. カリキュラムの詳細

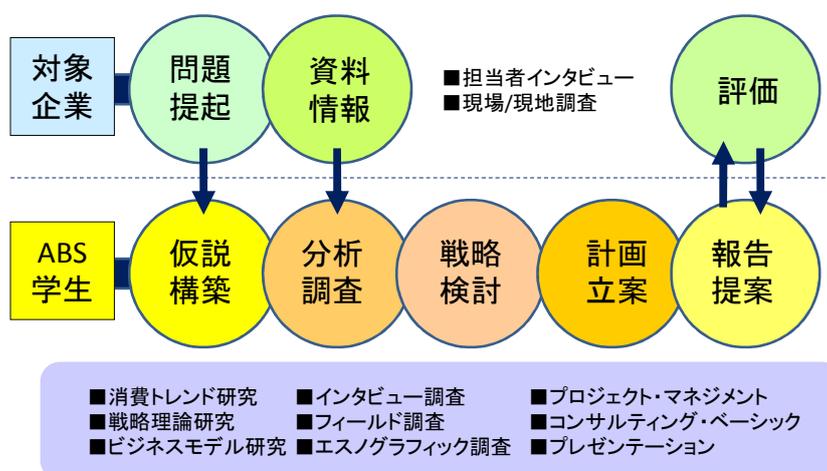
ABSにおけるMBAコースの集大成科目と位置づけられる「体験的学習プロジェクト」には、これまで経営戦略領域の「マネジメントゲーム」や「ビジネスプランニング」、ファイナンス領域の「ファンド・マネジメント・シュミレーション」、IT領域の「インターネット・ビジネス・プロジェクト」など7科目が開設され、教育成果をあげております。

マーケティング領域の「マーケティング・プランニング・プロジェクト」は、顧客、製品、ブランド、チャネル、コミュニケーションなどのマーケティング要素全般について、企業の課題と消費者のニーズを捉えた事例研究を行い、実際の企業に向けてその活動の改革につながる提案を行うものとして2010年度から開講されました。（2010年度は、東京急行電鉄株式会社のリテール事業本部と産学連携を組み、東急グループの代表的な商業施設である「SHIBUYA109」を対象として、ファッションやデベロッパビジネスについて研究しました。）

対象となる学生は、最終学年次生（2年次学生）で、研究対象ごとに数名単位のグループを編成します。科目期間は通年で、前期にスポーツマーケティングの理論やプロジェクト運営方法論などを学び、研究対象先の現状分析を行い、課題の仮説を構築して自主的に研究計画を立案します。そして後期にかけて研究計画に基づき、実際に担当者インタビューや、球場や競技の現場フィールド調査などを通じて仮説を検証し、今後のマーケティング戦略を構想し、具体的なアクションプランを構築する流れでプロジェクトを進めていく予定です。

ABS学生は本カリキュラムを通じて、①マーケティング分析・ケース研究能力、②調査分析業務を設計・実施し、分析・研究する能力、③コンサルティング・プランニング能力、④グループメンバー協同でのプロジェクト遂行能力などを養成していきます。

（参考図表） マーケティング・プランニング・プロジェクトの進め方



2. ABS（青山ビジネススクール）概要

ABSは、1990年に国内私学初の夜間大学院として発足した夜間大学院国際ビジネス専攻を前身とし、文部科学省の「専門大学設置基準」の制定に伴い、2001年に専門大学院国際マネジメント専攻として独立大学院となりました。

さらに2003年には「専門職大学院設置基準」制定により、専門職大学院国際マネジメント専攻に改組して現在に至っています。

MBAプログラムでは、「自ら考え、分析し、意思決定の行える経営プロフェッショナル」を育成する教育プログラムを開発しています。特に「体験的学習プロジェクト」は、修学期間の総まとめの科目で、それまで学んだ知識の統合やグループワークが要求される実践的学習の場で、ABSの特徴を最も発揮し、独自性のある科目として位置づけられています。

以上のような歴史と授業内容の特徴を持つABSは、日本におけるビジネススクールの草分けとして、1,200人以上のMBAホルダーを世に送り出しており、修了生は実業界のさまざまな分野で活躍しています。

■MBAプログラム

主に平日昼間履修の「FULL-TIMEプログラム」と企業等組織に勤務する職業人を対象にした平日夜間と土曜日履修の「FLEX-TIMEプログラム」と、職業経験15年以上の経営幹部候補者を対象とする「EMBAプログラム」（指定企業推薦）により構成されています。

■博士課程

博士課程として「Ph.Dプログラム」と「DBAプログラム」を備えています。

■主な学生データ

- ・全在籍者数=232人
- ・男女比率=男性75%：女性25%
- ・平均年齢=33.9歳(2011年度入学生)

その他詳細はABSのHPをご覧ください。

<http://www.aoyamabs.jp/>

3. 2011年度の研究対象としての産学連携先（企業・団体の表記は順不同）

■東京ヤクルトスワローズ

株式会社ヤクルト球団

担当者 広報部 加藤謙次郎 様

連絡先

住所：東京都港区新橋5-13-5 新橋 MCV ビル 5階（〒105-0004）

電話：03（5470）8915（大代表） / 03（6860）8919（直通）

URL: <http://www.yakult-swallows.co.jp/>

■埼玉西武ライオンズ

株式会社西武ライオンズ

担当者 事業部 吉田康治 様

連絡先

住所：埼玉県所沢市上山口 2135（〒359-1189）

電話：04（2924）1152

URL: <http://www.seibulions.jp/>

■社団法人日本トリアスロン連合

担当者 事業・広報委員長 専務理事 大塚眞一郎 様

連絡先

住所：東京都渋谷区渋谷 2-9-10 青山キングビル 3階（〒150-0002）

電話：03（5469）5401

URL: <http://www.jtu.or.jp/>

以 上